

トピックス

■ 自吸式マグネットポンプに新シリーズを追加発売

新製品としてDCキャンドベーンポンプ(PDV型)を開発し、この秋より発売いたしました。



市場で販売されているベーンポンプは一般的にAC

(交流)モータを採用していますが、当社製品はDC(直流)モータを採用することで、小型・軽量、高効率を実現しています。

主な用途として、レーザー医療機器の冷却用としてユニットに組み込まれ使用されます。

会社概況

(平成23年9月30日現在)

商号	三相電機株式会社
設立	昭和32年10月11日
資本金	8億7,160万円
従業員数	393名
事業内容	小型モータおよび小型電動ポンプの製造・販売、金型の製造・販売

株式の状況

(平成23年9月30日現在)

会社が発行する株式の総数	36,000,000株
発行済株式の総数	9,143,200株
株主数	611名
1単元の株式の数	1,000株

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 毎年6月開催
基準日 定時株主総会 毎年3月31日
期末配当金 毎年3月31日
その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めます。

【株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について】

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出およびご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、下記の電話照会先にご連絡ください。

株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関

大阪市中央区北浜四丁目5番33号
住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人事務取扱場所

大阪市中央区北浜四丁目5番33号
住友信託銀行株式会社 証券代行部

(郵便物送付先) 〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10

住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先) (0120)176-417

(URL) <http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html>

公告の方法 当社のホームページに掲載いたします。

<http://www.sanso-elec.co.jp/japanese/koukoku>

上場証券取引所 株式会社大阪証券取引所

この報告書は、当社第55期中間の状況をお知らせするものであり、株主総会の招集や配当金のお支払いをお知らせするものではありませんので、ご了承願います。

三相電機株式会社

〒671-2288 兵庫県姫路市青山北一丁目1番1号
TEL(079)266-1200 FAX(079)266-1206
URL <http://www.sanso-elec.co.jp/>

株主のみなさまへ

第55期 中間

株主通信

平成23年4月1日～平成23年9月30日



代表取締役社長 黒田直樹

株主のみなさまには、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は格別のご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

ここに2011年度(2011年4月1日から2011年9月30日まで)の営業の概況につきましてご報告申し上げます。

今後とも変わらないご支援、ご協力を賜りますよう心からお願い申し上げます。

平成23年11月

 三相電機株式会社

証券コード 6518

営業の概況

業績の概況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響により生産活動は低下するとともに、急速な円高の進行により景気は非常に厳しい状況で推移してまいりました。

当社グループにおいては、幸いにも東日本大震災による被害は軽微であり、サプライチェーンによる部材調達問題も早期に解決したことで、事業活動に大きく影響を与えることはありませんでした。また受注活動は電力供給不足懸念による前倒し注文などもあり高い水準を保ちながら推移してまいりました。

このような事業環境の中で、一時的な受注増加に対応するため、期間従業員の採用や交替勤務の実施など生産能力増強を行うことで、お客様への納期対応を図ってまいりました。また、円高を背景にグローバルな資材調達を増やすことでコストダウンを推進するなど諸施策を実施し、業績向上に努めてまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は63億29百万円（前年同期比133.2%）となり、営業利益は3億87百万円（同313.5%）、経常利益は3億82百万円（同364.7%）となりました。また、四半期純利益は、退職給付制度の変更に伴い、1億7百万円の退職給付制度改定益を特別利益に計上したことにより4億72百万円（同520.7%）となりました。

今後の取り組み

今後の業績の見通しといたしまして、東日本大震災の影響によりわが国経済は厳しい状況にあるものの景気は持ち直しつつあります。しかしながら欧州の金融情勢によるリスクの拡大や急激な円高による為替の変動で景気の先行きは依然として不透明感が払拭できない状況で推移するものと考えられます。

このような状況下、当社グループにおいては、グローバルな部材調達を進めるとともに、生産拠点の再編を行い、コスト競争力を高めてまいります。

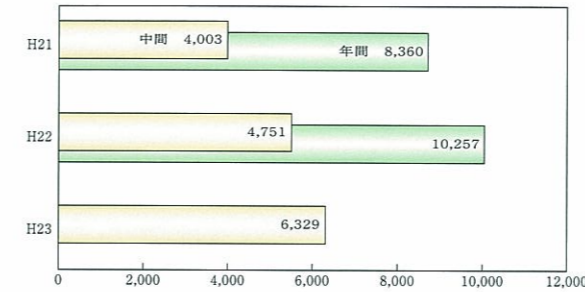
また、平成23年7月20日付で「中国における業務提携に関する基本合意書締結について」を開示しておりますが、中国企業との業務提携を進め、更なるコスト競争力と事業拡大により業績向上に努めてまいります。



業績の概要

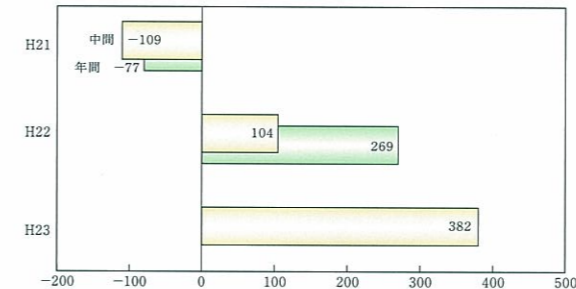
連結売上高

(単位：百万円)



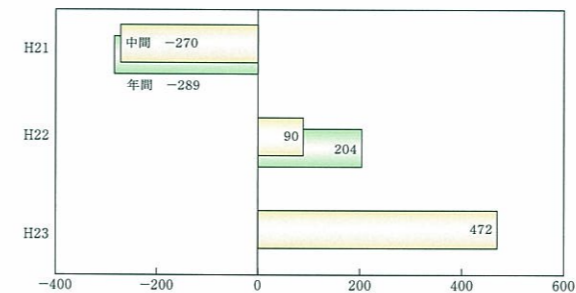
連結経常利益

(単位：百万円)



連結当期純利益

(単位：百万円)



要約連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	当第2四半期連結会計期間末 (平成23年9月30日現在)
資産の部	
流動資産	7,713
固定資産	2,894
有形固定資産	1,943
無形固定資産	89
投資その他の資産	861
資産合計	10,608
負債の部	
流動負債	4,066
固定負債	968
負債合計	5,034
純資産の部	
株主資本	5,698
資本金	871
資本剰余金	1,825
利益剰余金	3,040
自己株式	△38
その他の包括利益累計額	△125
その他有価証券評価差額金	△154
為替換算調整勘定	29
純資産合計	5,573
負債純資産合計	10,608

要約連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日) (至平成23年9月30日)
売上高	6,329
売上原価	5,108
売上総利益	1,220
販売費及び一般管理費	832
営業利益	387
営業外収益	16
営業外費用	21
経常利益	382
特別利益	107
特別損失	0
税金等調整前四半期純利益	489
法人税、住民税及び事業税	17
法人税等調整額	△0
四半期純利益	472